

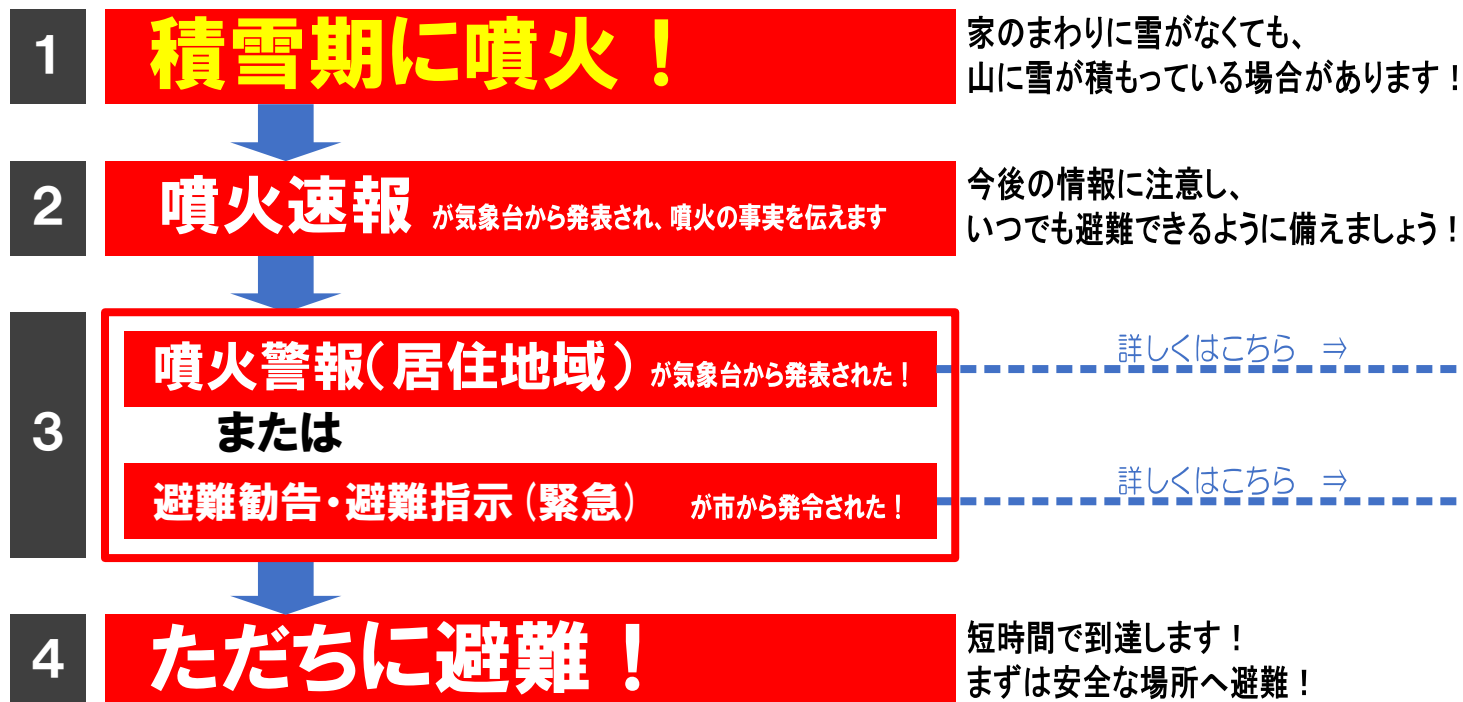
# 蔵王山火山 融雪型火山泥流避難地図

## 【融雪型火山泥流ハザードマップ】解説図

**融雪型火山泥流とは、** 積雪期の火山噴火で、火砕流などの熱によって斜面の雪が融かされて大量の水が発生し、周辺の土砂や岩石を巻き込みながら高速で流れ下る現象です。流下速度が速く、沢沿いや河川をはるか遠方まで一気に流下し、広範囲に被害を及ぼすおそれがあります。積雪期に噴火した場合は、ただちに警戒・避難することが必要です。

**須川では、** 蔵王山に雪が積もった状態で噴火した場合、融雪型火山泥流が発生し、須川を一気に流下するおそれがあります。国の被害想定では、**早いところで噴火から概ね1時間** で須川流域の住宅地付近まで到達することが想定されております。

### 1 どんなときに避難が必要？



### 2 避難行動などの留意点！

- 短時間で到達するため、まずは危険な区域から離れましょう。
- 危険な区域からの避難が困難な場合は、鉄筋コンクリート等の堅固な建物の2階以上へ避難するなど、生命を守る最大限の行動をとりましょう。
- 周辺の状況に十分注意して、あわてずに行動しましょう。
- できるだけ泥流の流れる方向（須川の流れる方向）に対して直角方向に避難しましょう。
- 災害の状況によっては不測の事態も起こり得るため、早めに避難しましょう。
- 降灰がある場合は、傘やマスク等を用いて避難しましょう。
- 隣近所で声をかけあい行動しましょう。
- 高齢者や障がい者など支援が必要な方の手助けをしましょう。
- 避難した後は、隣近所で安否を確認しあいましょう。
- 避難場所や避難経路、連絡手段などについて、隣近所や各世帯で話し合っておきましょう。



### 融雪型火山泥流避難地図【融雪型火山泥流ハザードマップ】の目的は？

この地図は、融雪型火山泥流が発生した場合に、被害を受けるおそれがある区域を示し、皆さんが避難する際などに適切な行動をとっていただくことを目的として作成しております。融雪型火山泥流から身を守るために、日頃から避難場所や避難経路の確認、さまざまな情報の収集を行い、防災意識を高めましょう。

### 3 気象台が発表する噴火警報に注意しましょう！

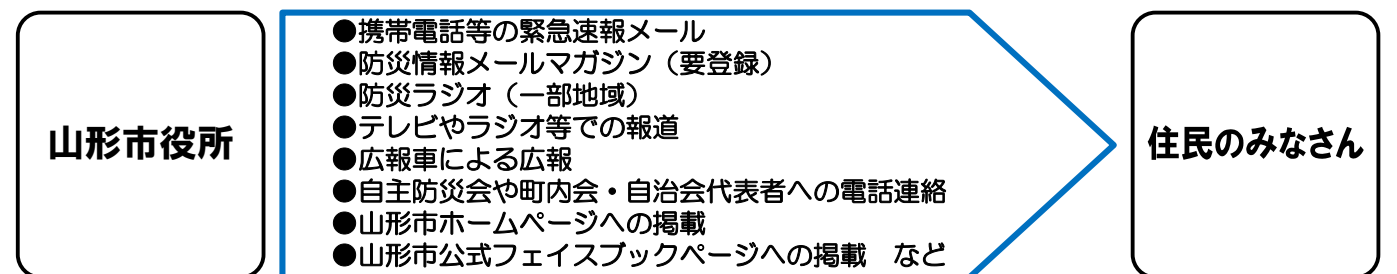
名称	警戒事項等	状況・融雪型火山泥流への対応	緊急性
特別警報 噴火警報 (居住地)	居住地 厳重警戒 (レベル4、5)	<b>ただちに避難</b> ●噴火が発生又は切迫している状況で、融雪型火山泥流が居住地域まで到達する可能性があります。 ●須川流域の居住地域で厳重な警戒が必要です。 ●須川流域の避難区域の住民等に避難勧告・避難指示を行う場合があります。	高
警報 噴火警報 (火口周辺)	入山規制 (レベル3)	<b>今後の動向に注意</b> ○噴火が発生した場合に大きな噴石などが、火口の縁から概ね1.2kmを超えて到達する可能性があります。(御釜中心から概ね3.5kmの範囲で警戒が必要です。)	
	火口周辺規制 (レベル2)	<b>今後の動向に注意</b> ○噴火が発生した場合に大きな噴石などが、火口の縁から概ね1.2kmを超えない範囲で到達する可能性があります。	
噴火予報	活火山であることに留意 (レベル1)	○火山活動は静穏	

※火山活動の急変により、突発的に大規模な噴火が発生する場合があります。

### 4 市から避難に関する情報が出たら、早めの避難を心がけましょう！

種類	内容	とるべき行動
避難指示(緊急)	被害が予想される住民のみなさんへ、避難勧告よりも強く避難を求めるものです。	ただちに避難
避難勧告	被害が予想される住民のみなさんへ、避難を勧めるものです。	あらかじめ決めておいた避難所等へ避難
避難準備・高齢者等避難開始	被害が予想される住民のみなさんへ、避難準備を呼びかけるとともに、高齢者や障がい者などへ、早めの段階で避難行動を開始することを勧めるものです。	非常持出品の用意(非常食料、貴重品など) 自主避難の開始(高齢者、障がい者など)

### 5 避難に関する情報の伝達方法



#### 防災情報メールマガジンの登録方法

山形市公式ホームページのトップページより「メールマガジン」を選び防災情報メールマガジンの登録方法をご確認ください。

<b>緊急 連絡先</b>	●警察 110番	●山形市総務部防災対策課 電話 641-1212(内線 380、383)
	●消防 119番	●村山総合支庁河川砂防課 電話 621-8230(平日の日中) 電話 621-8288(夜間・休日)